参謀総長

参拾五部ノ内第25號

最高戰爭指導會議

決定案二十三號

昭和二十年四月十六日

昭和二十米穀年度（四月以降）食糧關係配船新整案

（單位　千瓲）

	要輸（移）入總量	第一案	第二案	第三案
規正 都道府縣用、軍需用味噌用	一	一	三/二〇ヨリ一〇%	三/二〇ヨリ一〇%
大豆固有用途及肥飼料	一	三〇%	五〇%	五〇%
軍需集積用	一	三〇%	三〇%	五〇%
軍需馬糧味噌用	一	一〇%	三〇%	三〇%
計	共四〇四	共一五〇	共一六七	共一七二
要輸送量 一般食用（含AB）	一〇六一	一〇六一	七〇七	四五六
其他用途	四五〇	三一五	二二五	二二五
アルコール軍需集積用	二一〇	二一〇	二一〇	二一〇
軍需馬糧	二五九	一八二	一八二	一三〇
	四二四	三八六	二九一	二九一
期別要輸送量 一/二〇	一六〇〇	一四三〇	一〇七〇	一〇七〇
二/二〇	八〇四	七二〇	五四五	二四二

備考

一、軍需內譯

A主食用　純消費二、九四〇千石作戰集積用一、〇九〇千石繰越三二〇千石（一ヶ月分）

其他　馬糧三四九千屯（內四月以降要輸入三〇〇千屯（三一〇〇千石）主食外

用大豆九四千屯（七〇〇千石）

計　七一五〇千石

B主食用　純消費一、七九〇千石作戰集積用三七〇千石繰越一九〇千石（一ヶ月分）

其他　三〇千屯（二一〇千石）

計　二、五六〇千石

二、一般食用中二ハABノ純消費及繰越用ヲ含ム

本件六案二案ヲ可トス

軍需ノ內容ニ付テハ至急再檢討ス

2

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

2

0437

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

各案實行ノ可能性並軍需生産等ニ及ホス影響ノ概要

軍需省

要目	第一案	第二案	第三案
各案實行ノ可能性	滿洲出荷能力 關東軍ノ集積ヲ供出スルヲ要ス	港頭出荷ノ爲ノ鐵道輸送力 他ノ物動物資並軍需品輸送ヲ若干規正スルト共ニ地場輸送ヲ徹底的ニ壓縮スルヲ要ス	大阪港灣積出能力 相當不足スル見込ニシテ完遂至難ナリ
	同上	地場輸送ヲ大幅ニ規正スルヲ要ス	Aノ計畫シアル荷役力增強策ノ豫定期日完成ヲ前提トシテ辛シテ可能ナル見込（[illegible]九萬噸二〇〇千屯） 十九年度末ニ約シ三・六倍ニ增强スルヲ要ス
	同上	同上	同上
性	內地港灣能力並ニ鐵道中繼能力 裏日本ノ外ニ阪神關門ヲ相當利用スルヲ要ス	裏日本ノ外ニ若干阪神關門ヲ利用スルヲ要ス 京濱阪神ヘノ中繼ハ相當困難ナリ	同上
軍需	三〇〇千屯 豫想ノ船輸送力（約九〇〇千噸）ノ大部ヲ充當スルヲ要シ鹽等輸入ノ余地僅少	一、六〇〇千噸 輸入見込	戰局ノ推移ニヨリ南鮮方面ヘノ船舶至難トナル虞アリ 戰局悪化シ輸入量減少スルモ需給計畫ニ及ホス影響小ナリ 戰局推移豫想ニ鑑ミ實ナル案ト認ム
內譯	食料 二五〇〇千屯 鹽 二五〇〇〃 工業 四五〇〇〃 計 四五〇〇〃 石炭 三四〇〇〃 其他	一、三四〇千屯 糧穀類以外ニ充當シ得ル輸送力（7/10）	三〇〇千噸 二五〇〇〃 四五〇〃 七〇〇〃 四五〇〃

0438

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

生産等ニ及ホス影響

本州地區配炭量	東部二、二六〇千屯（對四/一九六〇%）	東部二、三六〇千屯（對四/一九六四%）
	西部二、四〇〇千屯（對四/一九六二%）	西部二、五五〇千屯（對四/一九六五%）
配炭量ニ影ズル産業稼働狀況	第二案ニ比シ更ニ鐵鋼等素材生産ヲ壓縮スルヲ要ス	鐵道運轉用炭並戰局ニ鑑ミ特ニ重點ヲ指向スル僅少ナル部門ヲ除キ産業一般稼働率ハ四/一九ノ概ネ五〇%程度ナリ
鐵鋼生産	普通鋼々材約二〇〇千屯（對四/一九三五%） 特殊鋼々材約一四〇千屯（對四/一九六〇%） 釜石、扇町、廣畑各製鐵所ノコークス炉高炉ハ概ネ全部休止スルニ至ル	普通鋼々材約二五〇千屯（對四/一九四四%） 特殊鋼々材約一七〇千屯（對四/一九七〇%） 釜石、扇町、廣畑各製鐵所ノコークス炉（計一〇個）高炉（計九基）中概ネ分ノ二ハ休止スルニ至ル
航空機生産	第二案ニ對シ若干減産スル見込	原材料配當可能量ヨリ見テ既定生産目標ニ對シ概ネ六〇%程度トナル 疎開並地下移設ハ相當遲延若ハ規模縮少ノ止ム無キニ至ル
火藥關係生産	硝酸 四/一九五〇% 爆藥原料 四/一九五二 〃 硫安 四/一九三五 〃	硝酸 四/一九五〇% 爆藥原料 四/一九六〇% 〃 硫安 四/一九三五 〃
肥料生産（內地）	石灰窒素 四/一九三〇 〃	石灰窒素 四/一九三〇 〃
液體燃料	第二案ト概ネ同樣ナルモクレオソート液ハ更ニ減少ス	總供給力二、一四千竓（製品換算一八六千竓） 配分AB八六千竓 CD一〇〇千竓（CDハ前期ノ六二%ニシテ最底需要ノ約三分ノ一）

同上

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

飼料配當	ABDノ配當ヲ第二案並トセハCノ全部門ニ對スル配當ハ零トナル	ABノ需要ノ一部トBノ需要ノ大部ヲ充足セハC部門ハ鐵道小運送通信給作業ト直接關係ス部門以外ハ全然配當不能
繊維綜合供給力	對前年 一八%	對前年 一八%
新聞用紙	一對四/九 六五%	一對四/九 六五%
一般洋紙		

「註」目下縣案中ノ航空機工業ノ大膨脹發展ヲ實施スルトセバ大陸從殺類及繊維物資ノ荷役ト競合スルニ必然ニシテ主トシテ殺類ニ對シ同量程度ノ爲正ヲ與ニ加減スル結果トナルベシ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

當面物的國力ノ運用ニ食糧及戰備ノ調整ニ關スル件（三案）說明

（二〇・四・一五）

一、計畫ノ基礎

當面物的國力ノ運用ニ關スル計畫ノ基礎ヲ成ス海上輸送力ノ見透ニ付テハ三案何レモ共通ノ想定ニ立チ船損耗率ヲ二八%ト見做シ其ノ輸送總量1/20ニ六二万瓲、前期ニ比シ實ニ三五%ノ減ト九二万瓲1/20ニ比シ更ニ六二%ノ減ト爲ス

輸送力斯クノ如ク逼迫セルニ付テハ之ガ配分ハ食糧ト兵器關係以外ニ對シテハ殆ンド割クコト能ハザルハ固ヨリ食糧ト兵器關係ニ付テモ夫ノ何レカヲ犧牲ニシ何レカヲ確保スル外ナク又兵器關係ニ付テ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

モ極度ニ重點ヲ制限セザルヲ得ザル狀態ニシテ問題ハ食糧ト兵器ト
ノ何レヲ優先セシムベキカ其ノ按配ヲ如何ニスルヤト謂フ究極ノ所
ニ局限セラル
而シテ食糧（鹽ヲ含ム）ニ付テハ現行基準配給量ノ維持ニ努ムル爲
必要ニシテ可能ナル限リ最優先的ニ大陸ヨリ之ガ送ヲ期セザル可
カラズトスル精神ニ於テハ三案共同シク、其ノ爲鋼等兵器關係資
材ノ生産ヲ犧牲トスルモ亦已ムヲ得ズト爲ス點ニ於テハ何レモ異ル
所ナシ
又兵器關係原料ノ送ニ付テハ三案共火藥、爆藥等ニ最モ重點ヲ置
キ鋼等兵器關係資材ヲ犧牲トスルモ工業關ノ確保ヲ優先セシム

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

トスル點亦同一ナリ

二、三案ノ相違

三案ノ相違ハ結局食糧還送可能量ノ見込ノ差ニ在リ

第三案ハ大陸ニ於ケル鐵道輸送力及船積能力、內地ニ於ケル荷揚能力及鐵道輸送力等ノ現狀ヨリ今後一、三〇万瓲程度ヨリ多クノ還送ハ見込難シト爲シ（第三案1/20見込ニ於テモ對前期實績三倍半）此ノ見透ノ下ニ國內施策ヲ全面的ニ强力ニ實施シ主要食糧配給基準モ軍民共即時一劃規正ヲ行フヲ適當ト爲スモノナリ

之ニ對シ第一案ハ今後二一五万瓲ノ還送ヲ見込ム、之カ可能ナラバ現行主要食糧配給基準ハ維持シ得ルモ現狀ヨリ判斷シ右ノ還送ハ可

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

能性極メテ疑ハシ

第二案ハ1/20ノ遠送見込ハ第三案ト同ジク1/20ノ見込ニ於テ第三案ニ比シ約三〇万瓲ノ増差アリ、此ノ點ニ不安アルモ本案ハ遲クトモ七月以降配給基準一割規正實施豫定ノ下ニ各般ノ對策ヲ強力ニ實行スルト共ニ此ノ線ニ沿ヒ適當ニ國民指導ヲ進メタル上規正ヲ實行ニ移サムトスルモノナリ

三、關聯施策

何レノ案ヲ採ルニ拘ラズ斯ク逼迫セル事態ニ面シテハ之ニ應ズベキ施策ヲ強力ニ實行スルノ要アルベク其ノ意味ニ於テ左ノ事項ハ特ニ考慮ヲ要スベシ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

(一) 國內自活自戰態勢ノ綜合的强力推進（非常供出、在庫配備疏整等ヲ含ム）

(二) 所在物資ノ保護、利用及融通ノ徹底（現有資材ノ直接活用ヲ含ム）

(三) 船舶損耗ノ防止及港灣荷役力ノ向上

(四) 木船建造ノ促進

(五) 大陸資源ノ非常輸送

右ノ外凡ユル政治施策及國民ノ指導ハ斯ル情勢ニ即シテ行ハルル要アルベシ

0445

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp